

## 見事！弓削中生の底力 ～すばらしい文化祭でした～

21日に行われた文化祭は、大変すばらしいものでした。参観者からも「聴いていて、いい勉強になった。」「時間は短くなったが、内容が凝縮されていた。」といった言葉をいただきました。

このような行事では、発表・準備・運営という三つの関わり方があります。今回そのすべてにおいて「いいものにしよう」という熱い気持ちを感じました。また、ステージでの発表も、作品作りも時間をかけての積み上げが大切です。何度も練習を繰り返し、「いいものを見てもらおう」と、みんなでレベルアップに努力したこと。みなさんの「少しでもいいものを」という気持ちが、すばらしい文化祭につながったと思います。お疲れ様！



しかし、これがゴールではありません。これからの学校生活、そして、来年、再来年の文化祭に向けて、さらに積み上げていってください。

### 2学期もあと1か月です

さて、気がつけば2学期もあと1か月を残すだけになりました。早いものですね。来週には期末テストが行われます。「あ～、やらなくちゃいけないなあ。」誰もがそう考えていると思います。しかし・・・。

右の詩は、あいだみつおさんという詩人の「そのうち」という作品の一節です。みなさんの毎日の生活の中で、この詩のような場面はありませんか？

「そのうち、始めるから。」

「そのうち、やるから、今は・・・。」

「やらなかった言い訳を探して、また、今日一日が過ぎていってしまう。」

日 が 暮 れる	べ ん か い し な が ら	そ の う ち	そ の う ち
-------------------	--------------------------------------	------------------	------------------

私自身、胸に刺さる言葉です。みなさんもこういう経験があるのでは？では、なぜ、何もできずに（やれずに）過ごしてしまうのでしょうか。

おそらく、「始めることを後に延ばしてしまうから」ですね。先送りせず、その時始めてしまえば、前に進めるのではないのでしょうか。やり方とか効率とかは、後から変えていけばいいのです。「いつかやろう。」「そのうちやろう。」では、それは夢や希望に終わってしまいます。「スタートする。」ことで、実現に近づくのではないのでしょうか。

### 「いつやるの」「今でしょ！」

こちらは、今やテレビ番組に出演していない日はないくらいおなじみになった、大手予備校の国語講師、林修先生の決まり文句ですね。表現は違いますが、言わんとしていることは、やはり、「すぐ、始めましょう。」と言うことです。やはり「今から始める」ことが大切なのですね。更に林先生はすぐやるための習慣として、①机上を常に戦闘態勢に（整理整頓）。②提出物は翌日すぐ出す。③生活リズムを一定にし、集中力を高める。④できなかつたことや失敗は記録しておく。などをあげています。



